

表 1人1日当たり収集ごみ量上位10区の推移

(単位：g／人・日)

年度	2011		2012		2013		2014		2015		2016		2017	
1位	杉並	540.0	練馬	528.4	杉並	515.1	杉並	498.4	杉並	488.6	杉並	474.2	杉並	469.8
2位	練馬	542.3	杉並	528.4	練馬	519.6	練馬	508.4	練馬	500.4	練馬	486.4	練馬	482.3
3位	葛飾	549.8	葛飾	549.1	葛飾	534.5	中野	522.8	江東	509.4	中野	493.9	中野	482.9
4位	大田	556.7	大田	551.8	大田	540.3	大田	523.8	中野	511.2	江東	494.4	江東	487.8
5位	江戸川	558.4	江戸川	554.0	中野	544.1	葛飾	524.4	大田	516.2	大田	505.5	大田	495.0
6位	中野	561.8	中野	554.2	江戸川	544.6	江戸川	529.6	葛飾	521.9	江戸川	509.2	葛飾	503.9
7位	品川	562.5	品川	556.8	品川	546.2	品川	531.3	江戸川	524.5	葛飾	509.4	江戸川	504.5
8位	目黒	569.9	江東	560.5	江東	553.9	江東	535.3	品川	524.7	品川	511.3	品川	509.7
9位	江東	576.2	目黒	567.3	目黒	562.3	北	548.2	北	537.5	北	519.0	板橋	511.8
10位	北	585.3	足立	573.9	足立	563.6	足立	548.3	足立	540.1	板橋	526.8	北	515.7

注) ここでの収集ごみ量は、資源回収量を含まない。

(出所) 東京二十三区清掃一部事務組合『清掃事業年報』各年度版より作成。

(解説) 図は区別の1人1日当たり収集ごみ量を最少の杉並区から最大の千代田区まで順に並べて比較したものであるが、収集ごみ排出原単位は大きな繁華街を抱えて事業系ごみの収集ごみへの混入量が多い区で大きく、住宅地が大部分を占める区で小さくなる傾向が見られる。そこで、表により、この7年間における1人1日当たり収集ごみ量上位10区の推移も併せて示すこととした。経年で見ると、杉並区、練馬区は毎年ごみ減量ランク上位に位置し、中野区、江東区がランクを上げてきたことを確認できる。